

香美町ふるさと

ものしり博士

ガイドブック vol.2



村高マスコットキャラクター

ものしり博士 ガイドブック vol.2

- 【発行日】 2021 (令和3) 年2月25日 初版
【発行】 兵庫県立村岡高等学校
〒667-1311 兵庫県美方郡香美町村岡区村岡 2931
☎0796-94-0201
- 【監修】 鳥取大学地域学部
【協力】 香美町地域おこし協力隊 房安晋也
【デザイン・印刷】 スタジオK1
【スタッフ】 兵庫県立村岡高等学校第59期生
《地域アウトドアスポーツ類型地域創造系》
井口陸霸 上田遥菜 田中瑞紀 西村大地
輪違幸己 今井真琴 岸 朋佳 伍々 零
小林祐貴 西井悠人 西谷奈純 福井若菜



発行 兵庫県立村岡高等学校
監修 鳥取大学地域学部

目次

はじめに	1
ものしり博士紹介	
小林 建造(小代)	昔の小代ってどんなところ？ 2
田村 哲夫(小代)	沢山の引き出しで小代のガイドを 4
田淵 覚男(小代)	小代スキー場の開発者 6
森 清 (兎塚)	兎塚に伝わる伝説を知ってほしい！ 8
前田 博 (村岡)	本気の遊び人 10
吉門 正行(小代)	自然を活かした物づくりのスペシャリスト！ 12
西田 百樹(小代)	小代の歴史ならおまかせ 14
木谷 恒子(村岡)	手作り料理で体を元気に 16
田野 公大(小代)	小代の自然をごらんなはれ 18
片村 福夫(射添)	矢田川とアユの親 20
田中 基彦(村岡)	神社から学ぶ村岡の歴史 22
田丸 和美(兎塚)	自然のことならおまかせあれ！ 24
野村六合司(射添)	大きな太鼓を小さな町から 26
黒田 益生(兎塚)	野鳥を通して自然をマスター！ 28
井上 利夫(兎塚)	燻製で一度、語りで二度 あなたも虜に！ 30

ふるさと教育教材開発の取り組み

- ①活動記録 32～33
- ②ふるさと教育教材 (ゲーム) 34～36

編集後記

37

本誌の見方 (p2～p33)

子ども用ポスター

☆子どもたちが見て、興味のあるものしり博士の所へ、気軽に行けるように作成しました！



大人用解説

☆ものしり博士の解説です。ものしり博士の情報と魅力、子どもたちへの思いを書いています。ふるさと教育に役立てられるようにしました！

はじめに

兵庫県立村岡高等学校

校長 大垣 喜代和

「私たちの地元にはこんなすごいものしり博士がいる」その人たちを紹介して、ふるさと「香美町」のよさをもっと子どもたちに知ってもらおう。そのための教材を開発しよう。

村岡高校地域創造系 59 期生は、そんな思いでこの「香美町ふるさとものしり博士ガイドブック vol.2」の制作に取り組みました。

地元のことを知っているようで知らない生徒たちには新しい発見がありました。「ものしり博士の思い」を少しでも引き出すことができるように、そして、vol.1 と合わせて体系的にふるさとが学べるように取り組んできました。

このガイドブックが、香美町のすばらしさの再発見、ふるさとを大切にする子どもたちの育成に役立ってくれること、そして多くの皆様にふるさと香美町を知っていただけることを期待しています。



ふるさと教育プロジェクト

～ものしり博士を活用したふるさと教育づくり～

香美町教育委員会は「町づくりは人づくり」を基として、町の活性化をしていくべく、「ふるさとに学び、夢や志を抱き、ふるさとを大切に作る人づくり」を基本目標に取り組みを進めています。そのような中でも、「国際社会で主体的に生きるために、自分自身の基盤となる地域の理解を深め、尊重する態度や豊かな文化の継承・創造に寄与する態度を育てる」ことを重要視し、「ふるさと教育の充実」を掲げ活動しています。

今回、私たちは「ふるさとものしり博士」を取材し、地域人材を有効活用した授業づくりの充実と、手助けになるために、「ふるさと教育教材開発プロジェクト」に取り組みました。



兵庫県立村岡高等学校第 59 期
地域アウトドアスポーツ類型地域創造系



むかし おじろ
昔の小代ってどんなところ?

こ ばやし けん ぞう
小林 建造さん

まな
学べること

- 1. 小代の歴史
(遺跡や戦い)
- 2. 戦争中の暮らし



みずまの だ いせき み じかん
水間野田遺跡で見つかった耳環

はかせ
ものしり博士からみんなへ

たくさんのことに興味を
もって自分の考えを大切に
してほしい。
歴史をもっと知って実際に
やってみてほしい。

ひと
どんな人?

昔は小学校の先生をしてたんだ。今は小代にある遺跡を調査したり、歴史についていろんな人に教えているよ！たくさんの方に興味をもって調べているんだよ！

うえのやま いせき
上山遺跡で
はっけん
発見された
だせい せきふ
打製石斧



【解説 ものしり博士】

小林 健造さん

○ジャンル
小代の歴史

○プロフィール

- ・浜坂高校→玉川大学
- ・卒業後は小学校教員として但馬で働く（小代小学校には12年間）
- ・文化財審議委員、民生指導委員として活動
- ・退職後は大学で研究していた古文化について小代でも見つけたいと思ひ、小代を歩いて研究を始める

○ものしり博士の活動

- ・年に2回ある研修会での公演
- ・依頼を受けて小学校での講義（戦時中の話）

〈子ども時代の暮らし〉

- ・グラウンドに畑を作りサツマイモなどのイモ類を栽培（戦時中）
- ・家で牛を飼う
- ・鳥やウサギなどを罠にかけて捕まえ、それを調理しみんなで焼いて食べる

〈研究〉

- ・縄文時代について小代で調べる
→小代を歩いて回り小代区広井で遺跡が発見される
→遺跡が見つかるとう実際に見に行き目で見て確かめている

○ものしり博士の思い

「昔の人を知れば知るほど素晴らしい！」

小林さんは遺跡などの歴史を調べる際に、実物を見る前にまずは自分で、どのようにできたかや、いつできたかなどの仮説を立てているそうです。そして実物を見たときに自分の仮説と照らし合わせ、当たっていればとても嬉しく、この瞬間があるから歴史調べが面白くやめられないそう！調べる前には自分の考えを持つことが大切です。

○子どもたちに伝えたいこと

「歴史を知り昔の暮らしを経験するべきだ」

昔の子どもは畑や物で、作れるものはすべて作って生活し、山にもよく行っていました。しかし今の時代ではそのようなことはなくなっています。だから現代人は昔について触れ、尊敬の心をもち良い人間になってほしいと思います。

連絡先

香美町小代区貫田
☎ 0796-97-2783



たくさん ひだ
沢山の引き出しで
おじろ
小代のガイドを

た むら てつ お
田村 哲夫さん



こんなことをしているよ

- おじろ ひとり
・小代ガイドクラブの一人
- おじろ く ちいき れんけい しょちょう
・小代区地域連携センターの所長さん
- しょうがっこう おじろ れきし たじまうし はなし
・小学校で小代の歴史や但馬牛についてお話

はかせ ものしり博士からみんなへ

いち ど ち いき で ふるさと おも
一度ほかの地域に出ても故郷のことを思っ
ていてほしい。そして帰ってきてほしい。遠
くにも自分の出来る事を見つけて故郷
おんがえ
に恩返しをしてほしい。

【解説 ものしり博士】

田村 哲夫さん

○ジャンル
小代の歴史と自然

○プロフィール

- ・高校から神戸へ
- ・40代で小代へUターン
- ・地域で頑張る人を発掘する仕事につく
- ・今は小代区地域連携センターの所長さんや小代ガイドクラブで活動

○ものしり博士の活動

・小学校で小代の歴史や但馬牛についてのお話

一方的な話にならないように子どもたちにも問いかけて、その答えを踏まえ、子どもたちの知らない知識を教えられるようにしています。そうすることで子どもたちを話に引き込み、会話のキャッチボールになることを心がけています。

・観光客などに小代のガイド

興味を持って見学してもらうために一人一人の雰囲気を見てその人に合わせた説明をするようにしています。例えば、同じ牛についても但馬牛の育った環境に興味のある人には、昔の牛の何気ない日常や食べ物について、牛肉が好き人には、但馬牛の肉質などについてお話します。そのため興味のあることは新聞などの記事を切抜きしたりコピーするようにしています。

○ものしり博士の思い

高校時代に外に出て故郷を知ることができなかったことを反省しています。でも小代にUターンしてきて小代を知ろう、但馬を知ろうと頑張ったことでさらに小代に愛着がわきました。それに自分がいろんな場所に行き経験したことはとてもプラスになっています。一見関係なさそうなことで役に立つことがあります。気持ちの幅を持ち、たくさん引き出しを持つことが大切だと思います。物知り博士として子どもたちにもっと故郷の良さを教えて行きたいと思います。そのためもっと学校で物知り博士を活用してほしいと思います。

○子どもたちに伝えたいこと

田舎は色々なことが限定されてしまうので、一度外に出てたくさん経験してまた地元に戻ってきてほしいです。離れていても自分の出来る事を見つけて故郷に恩返ししてほしいです。

連絡先

(香美町小代区貫田)
☎ 090-9093-0421 (携帯)



おじろ じょう かいほつしゃ
小代スキー場の開発者

た ぶち かく お
田淵 覺男さん

こんなことをしていたよ

- おじろ じょう かいほつ **小代スキー場、ミカタスノーパークの開発**
- かいこ ようしょく **蚕の養殖**
- むら けんせつ **とちのき村の建設**
- おじろ いっき えいが さくせい **小代一揆の映画作成**

はかせ ものしり博士からみんなへ

なに せいこう あいて たちば た
何かを成功させるには相手の立場に立って
かんが いっしょうけんめい だれ たす
考えること。一生懸命すると誰かが助けてく
たいてい
れる。大抵なんとかなる！

【解説 ものしり博士】

田淵 覺男さん

連絡先

香美町小代区神水
☎ 0796-97-3367

○ジャンル

小代スキー場開発、農産物

○プロフィール

- ・ 定時制高校卒業後、酒屋（酒造り）へ
- ・ とちのき村建設
- ・ ミカタスノーパーク開発
- ・ 蚕の養殖
- ・ 小代スキー場開発
- ・ その後町会議員を18年間

○ものしり博士の魅力

・蚕の養殖

高度経済成長期に合わせ役牛として買っていた牛が必要なくなり、牛舎として使っていた場所を有効活用して地域収入にできないかと考え、開始しました。年に4回の収穫も成功しました。

・とちのき村建設

兵庫県で最も人口密度の高い尼崎と最も人口密度が低い小代で友好都市になれないかと活動を始め、尼崎市立美方高原自然の家「とちのき村」を完成させました。

・小代スキー場開発

若者が冬に出稼ぎに出なくていいようスキー場開発が始まりました。リフトなどの建設費で大きな借金をしましたが、「田淵さんが全財産をかけるなら」と周りの人も協力してくれました。大切に育てた林を切り倒さなければいけないので、その土地の地主さんの説得も大変でした。

・ミカタスノーパーク開発

小代スキー場が成功し、自分の生まれ育った新屋地区にもスキー場建設が始まりました。「作るなら他にないスキー場を」と、ナイターで滑れたり、スノーボード専用のスキー場を開発しました。

○ものしり博士の思い

母は「まず自分が動かないと人は動いてくれない」「損して得とれ」が口癖でした。その考えを胸において今まで活動してきました。たくさん大変な思いもしたけど、色々な事業を成功させることができたのは多くの人の助けがあったからです。一木一草を大切にすまちづくりを目指していきたいです。

○子どもたちに伝えたいこと

何かをするときはまず相手の立場に立って考える事が大切です。そして一生懸命していれば必ず誰かが助けしてくれます。そうすれば大抵何とかかなります！



うづか つた でんせつ し 兎塚に伝わる伝説を知ってほしい！



もり きよし 森 清さん

こんなことやってるよ！

- ふくおか れきし おし
・福岡の歴史を教えているよ
- うづか はなし
・「兎塚のはじまり」という話をしているよ！
- しょうがくせい ちめい ゆらい おし
・小学生に地名の由来を教えているよ！

うづか なまえ なんで「兎塚」っていう名前なの？

しよ うさぎ つか はか 3か所に兎の塚(お墓)があるからだよ！



たじま てまえ
但馬トンネル手前



ふくおか みんか うら
福岡の民家裏



やはた やま こうえん ちか
八幡山公園近く

【解説 ものしり博士】

森 清さん

○ジャンル
福岡の歴史

○プロフィール

- ・小学生を対象に地名の由来を伝える
- ・公民館での講義活動

○ものしり博士の活動

森さんの主な活動は「兎塚」と「福岡」の地名の由来に関する歴史を地元の人に伝えることです。「兎塚のはじまり」という講義もされています。

・「兎塚のはじまり」について

兎塚地区は奈良時代に草壁さんという人物が土地を治めるために村岡区和池に来たのがはじまりだそうです。

・地名の由来について

昔、「大森の池」という所に住んでいる大蛇が住民に対して悪さしていて、弓の名手が大蛇を退治しようとしたときに、退治の邪魔をしてきた3匹の兎も倒したが、その兎たちの霊が出現し、住民を困らせたので、霊を鎮めるためにこの地の3か所に兎の塚(お墓)を作ったという伝説があります。「兎塚」という地名はそこから付けられたそうです。しかし、実際には、塚から骨壺が出土したため人間を兎にたとえた伝説だと考えられています。

○ものしり博士の活用方法

香美町のホームページに「兎の塚伝説 うづかの歴史コース」というウォーキングマップがあります。

そのウォーキングマップとものしり博士ガイドブックを活用して、実際に歩いて、自分の目で見て兎塚を体験してみてください。

○子どもたちに伝えたいこと

若い頃にまとめていた資料を地域の人に知ってもらったり、小学生に教えたりすることは、おもいもよらない質問をされたり、小学生でも分かるように説明したりと大変ですが、面白いし楽しいのでやりがいを感じています。地域の人に伝える機会や時間は少ないですが、子どもたちに限らず大人の方にも自分の住んでいる地域の歴史は知って欲しいです。そのためにこれからも伝え続けたいです。

連絡先

香美町村岡区福岡
☎ 0796-96-0002



ほんき あそ にん
本気の遊び人

まえ だ ひろし
前田 博さん

しゅりょう さかなつ
**狩猟と魚釣りを
やってるよ**

こんなことをしているよ

しゅりょう
狩猟

シカ・イノシシ・クマ

さかなつ
魚釣り

アユ・コイ・フナ



しゅりょう ようす
狩猟の様子

【解説 ものしり博士】

前田 博さん

○ジャンル

- ・狩猟（イノシシ、シカ、クマ）
- ・魚釣り（アユ、コイ、フナ）

○プロフィール

- ・元調理師
- ・香美町役場の職員（バスの運転手）をしていた
- ・今は魚釣りや狩猟をしている

○ものしり博士の活動

・魚釣り

魚釣りは、主に渓流釣りをする。コイ釣りはさつまいもをエサにする。コイ自体が大きな魚だから、釣り竿の引きが強く釣り甲斐があり、面白い。農協の裏の川で魚釣りを教えてくれる。

・狩猟

猟友会で狩猟をしている。銃を使って狩猟をする。罠猟もしている。罠は自分で作る。野生動物がどうすれば罠にかかるか考えて作るので、とても楽しい。

○ものしり博士の魅力

前田さんのお話はとても勉強になることばかりで、ついつい聞き入って時間を忘れてしまうほど面白かったです。今は魚釣りや狩猟をしています。前田さんのお父さんは但馬牛のお世話をしていた方で、但馬牛のお話も聞かせてもらいました。今では体験できない貴重な話でした。また、シカやクマのお肉を御馳走させていただきました。すごく優しく、温厚な方なので、ぜひお話を聞きに行ってみてください。

○子どもたちに伝えたいこと

全力で遊ぶこと。前田さんが子どものころは上の学年の人が魚釣りなどの遊ぶ知識を教えていましたが、今はそういう人がいないので子供たちは釣りなどの遊び方がわかりません。少しでも釣りに興味を持ったり、してみたいと思った方は前田さんのところに行ってみてください。快く遊びの知識を教えてください。

連絡先

香美町村岡区村岡
☎ 0796-94-0020



しぜん い もの
**自然を活かした物づくりの
スペシャリスト!**

よしかど まさゆき
吉門 正行さん

いっしょ
みんなも一緒に
つくって見よう!

はかせ
**ものしり博士から
みんなへ**

むかし ようす しぜん
•昔の様子や自然のことをもつ
と知ってほしいな!

しぜん たいせつ
•自然を大切にしてほしい!

やま かわ げんき あそ しぜん
•山や川で元気に遊んで、自然
の良さに気づいてほしいな

し なん
•知りたいことがあったら何で
も聞いてね!

**こんなこと
してるよ!**

こけだま らん もっこう
•苔玉や蘭、木工クラフトや
竹細工をつくっているよ!

さかなつ ほ もの
•魚釣りや彫り物、ギターに
も詳しいよ!



【解説 ものしり博士】

吉門 正行さん

○ジャンル
木工・自然・昔の遊び

○プロフィール
・自然が大好き
・木工クラフトや魚釣り、ギターや彫り物等、幅広い趣味や知識がある
・人と話す事が好き
・「できると思ったら全部する」がモットー

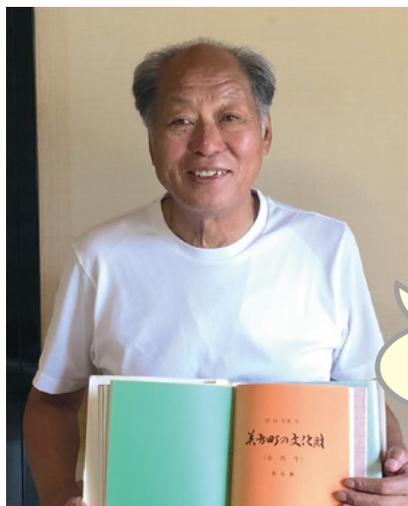
○ものしり博士の活動
・苔玉や蘭、木工や竹細工の作成
・以前は小代小学校に行き、バードコール等の作り方を教えていた
・「何かから作る事」を音楽も交えながら教えていた

○ものしり博士の思い
昔の様子や自然の事をもっと知ってほしいです。かつては生態系が破壊された事で、矢田川からアユがいなくなってしまった事もありました。このような事が二度とないように、みんなで一緒に自然を守っていきたいです。
また、いざ自然に出て行くと、そこには様々な危険が潜んでいます。植物や昔の過ごし方について少しでも知っているのと、より楽しい時間が過ごせます。例えば、かぶれる危険のある植物や安全な植物、食べてはいけない物や止血法そして、旬のもの等です。これらの知識を得て、自分の身を守り、山や川を精一杯楽しんで、自然の中にある魅力に気付いてほしいです。

○子どもたちに伝えたいこと
将来、香美町を出る人、香美町に残る人、色々あると思います。それでも、最終的には地元に戻ってきて故郷をより良くしてほしいと思っています。
もし、聞きたいことがあったら何でも教えるので連絡してね!

連絡先

香美町小代区秋岡
☎ 0796-97-2071



おじろ れきし
小代の歴史ならおまかせ

にし だ もも き
西田 百樹さん

おじろ れきし でんとう
小代の歴史と伝統に
ついて知ってるよ！



はかせ
ものしり博士からみんなへ

おじろ れきし でんとう ぶんか い
小代の歴史、伝統文化と言ってもたくさん
しゆるい はなし き まえ
の種類があるから、話を聞く前に、これに
くわ き い
ついて詳しく聞きたいと言ってくれと
たす
助かるな。

【解説 ものしり博士】

西田 百樹さん

連絡先
香美町小代区大谷
☎ 0796-97-3850

○ジャンル
小代の歴史と伝統文化

○プロフィール
・役場に勤めていた
・小代地区の神社の神主

○ものしり博士の活動
・文化財審議委員会として調べまわった
・年に3回ある小学生の環境授業の手伝い
・河川の生き物（水生昆虫）の調査
・アユの放流
・魚釣り体験
・子どもたちに安全の確保を伝える

○ものしり博士の思い
西田さんは小代の民俗習慣が好きで、それが昔の人の暮らしについて調べるきっかけになった。西田さんは知識量が多く、小代のあいさつから小代の熱田ができた理由まで、小代の歴史や伝統文化を幅広く教えていただきました。また小代の発展のため、広井地区で縄文の建物や山遺跡の調査をされていたのですが、すべて手で掘って調べられて、すごく地元愛のあふれる方という印象がありました。すごく気さくで優しい方なので、小代のことが知りたい人は、西田さんに聞いてみてください！

○子どもたちに伝えたいこと
思いやりの心を持ってほしい。これは西田さんのお母さん言葉です。昔、農家では一つの家に一頭は牛を飼っていました。そして、西田さんはその牛を売って、たい焼きまんじゅうを買い、近所の人に渡し、喜びを共有していました。思いやりの心を持つためには、まず自分を大切にしてほしいです。自分を大切にできる人は、他人も大切にできると西田さんは言っていました。



てづく りょうり からだ げんき
手作り料理で体を元気に

き だに つね こ
木谷 恒子さん



こんなことやってるよ!

じもと と つか て
• 地元で取れたものを使った手
づく りょうり とあ かあ
作り料理をお父さん、お母さ
おし
んに教えているよ。

りょうり ほうほう あじ つ ひ び けんきゅう
• 料理の方法や味付けを日々研究しているよ。

しょうがくせい ちゅうがくせい こうこうせい りょうり おし
• 小学生、中学生、高校生に料理を教えているよ。

はかせ
ものしり博士からみんなへ



りょうり すこ きょうみ も
料理について少しでも興味を持ち、

ちしき ふ
知識を増やしてほしいな。

さかな からだ よ さかな
魚は体にとっても良いので、魚を好き

た
になって、たくさん食べてほしい!

さかな た
魚を食べると
むし ば
虫歯になりにくくなるよ!

【解説 ものしり博士】

木谷 恒子さん

○ジャンル
郷土料理

○プロフィール
長野県出身
料理の中でも特に作ることが好き

○ものしり博士の活動

- 「ふるさと味作り」
例) ・昔の殿様は何を食べていたのか調査して実際に作ってみる。襖の下張りに書いてあるものを再現した料理をつくり、道の駅で販売しました。
- お母さんに対して 「ふるさと味作り講座」を開催
・地元でとれたものを手作りする方法を教える
- お父さんに対して 「料理教室」を開催
・自ら料理に取り組めるように調理方法を教える
- 小、中、高校生に向けて料理講座
・魚料理や魚のさばき方を教えている
・村岡高校の調理実習の講師

○ものしり博士の思い

やり方を教えて、出来ると喜んでくれるのでやりがいを感じます。また、料理の知識を少しでも増やして賢くなってほしいです。体に良いものを食べてほしいという思いで、地元でとれたものを使って、味付けを日々研究しています。

○子どもたちに伝えたいこと

魚を好きになってほしいです。魚は虫歯になりにくく、体にも良いのでぜひ魚をたくさん食べてください。イワシは特に体に良いです。骨が嫌いな子は骨の抜き方を教えます。

連絡先

香美町村岡区村岡
☎ 090-5127-8847 (携帯)



おじろ しぜん
小代の自然を
ごらんなはれ

た の きみ ひろ
田野 公大さん

おじろ けしき さいこう
小代の景色は最高！

こんなことやってるよ！

- おじろ けしき
・小代の景色をインスタグラムに投稿しています！
- れきし えいが つく
・歴史映画を作ったりしています。



はかせ
ものしり博士からみんなへ

- じぶん きょうみ すす べんきょう
・自分の興味があることを進んで勉強してほしい。
- ちいき ぎょうじ さんか
・地域の行事に参加してほしい。
- みんな きょうりよく さくひん つく
・みんなで協力して作品を作してほしい。

【解説 ものしり博士】

田野 公大さん

連絡先

香美町小代区新屋 636
☎ 0796-97-2003

○ジャンル

自然・電気＝景色、電気、パソコン

○プロフィール

- ・香美町の議員
- ・Instagramで小代の景色などを投稿
- ・歴史映画の作成

○ものしり博士の活動

- ・小代区新屋の老人会の「花グループ」の一員として活動
- ・芸能同好会で踊りのBGM、歴史映画の作成

○ものしり博士の思い

香美町の山・川・海といった自然に触れて欲しいです。地元について勉強をすることで、戻りやすい環境を自分で作っていきけるし、ネット環境も発達しているので自宅でも出来るような仕事をして地元に残って欲しいです。また、映画などの作品をぜひ作って欲しいです。上手い下手関係なしに協力をして作り上げたときの達成感を味わって欲しいです。

○ものしり博士のやりがい

地域の人々と一体となって活動することでやりがいを感じられるし、議員をやめたら、高齢者ばかりの地域をネットを使って暮らしやすくしていきたいです。みんなで助け合う村を作りたい。

○子どもたちに伝えたいこと

若い人がいなくなっている中ですが、どんどん地域行事に参加して欲しいです。ジャンルは何でもいいから自分の興味があることを積極的に勉強してください。地域の価値がでるのはそこに住んでいる人たちがどれだけ地域のことが好きかです。一生懸命にすることで地域が変われると思います。だから自分の住んでいる地域のことを学んでください。将来都会に出ても地元に戻ってきてください。



や だ が わ お や 矢田川とアユの親

か た む ら ふ く お

片村 福夫さん



や だ が わ ま も
矢田川とアユを守っているよ
みんなもアユを釣ってみよう!!

こんなことをしているよ!

- アユの放流ほうりゅう
- 矢田川の調査→地元ちやうさの小学生じもとと一緒にしょうがくせいしてるよ!いっしょ
- 釣り用具つりようぐのレンタル
- アユの産卵場さんらんばの整備せいび

も っ と 川 と 親 し ん で
いっしょ しぜん たの
一緒に自然を楽しもう!!



【解説 ものしり博士】

片村 福夫さん

○ジャンル

自然=矢田川のアユ

○プロフィール

- ・矢田川で釣りをするのが大好き!
- ・矢田川清流会、矢田川漁協理事に所属し、矢田川とアユを守っている
- ・矢田川とアユのものしり博士

○ものしり博士の活動

矢田川でアユが減少している中、これからも矢田川でのアユ釣りを通して多くの人に自然を楽しんでもらうことを目的として活動しています。矢田川のアユを増やすためアユの放流から産卵場の整備をしています。また、矢田川でアユが住みやすい環境をつくるため、矢田川を調査し問題点を探し、解決にむけて活動しています。実際にアユのエサである藻類が昔と比べ減っていることに気づき、田畑の強い除草剤が矢田川に影響しているのか。など様々な問題点と解決策を考え、よりアユが住みやすくなるように環境整備をしています。

さらに、多くの人に楽しんでもらうために釣り用具の貸し出しを行っています。具体的には都市部から年間100名の方がアユ釣りを体験し、多くの方がリピーターとしてもう一度矢田川を訪れています。また、地元の4つの小学校と連携し、小学生と一緒にアユの放流を行い、子どもへのふるさと教育にも取り組んでいます。

○ものしり博士の思い

今は、矢田川のアユが減少してしまったので、昔のように矢田川でアユを釣って楽しめる環境にしたい。家で楽しめる趣味が増えている昨今でも多くの人にアユ釣りを楽しんでもらいたい。そんな思いが今の活動につながり、実際多くの方がアユ釣りを通して矢田川の自然を楽しんでいます。これからも昔のように多くの方がアユ釣りを通して自然を楽しんで欲しいと思っています。

○子どもたちに伝えたいこと

携帯電話やインターネットが進歩している今では、外に出て遊んでいる子どもをあまり見かけないようになり、川に関心を持つ人が少なくなっていると感じています。だからこそ、子どもたちにはもっと川と親しんでほしいです。そして地元の魅力を知るきっかけになればと思っています。

連絡先

香美町村岡区味取
☎ 0796-99-5210



じんじゃ まな
神社から学ぶ
むらおか れきし
村岡の歴史

た なか もと ひこ
田中 基彦さん



いちど じんじゃ き じっさい
一度神社に来てみて実際に
み むらおか れきし まな
見て村岡の歴史を学ぼう!!

こんなことを
しているよ!



くろの じんじゃ
黒野神社

- くろの じんじゃ かんり
・黒野神社の管理
れきしもの ほぞん ぼうか ぼうはん かんり
歴史物の保存や、防火防犯などの管理
をしてるよ!
- ちいき ない ちいき がい かつどう
・地域内から地域外での活動
むらおか つた
村岡のことを伝えてるよ!
- きょういく
・ふるさと教育
しょうがくせい まえ はっぴよう むらおか みりよく
小学生の前で発表して村岡の魅力を
つた
伝えてるよ!

【解説 ものしり博士】

田中 基彦さん

連絡先

香美町村岡区村岡
☎ 0796-94-0432

○ジャンル

歴史＝神社から学ぶ村岡の歴史

○プロフィール

- ・黒野神社の宮司
- ・地元の小学生にふるさと教育
- ・「香美」の歴史紹介

○ものしり博士の活動

活動内容としては、主に黒野神社の管理をしています。地元の幅広い地域のお宮さんの管理もしています。黒野神社には旧国宝を含めた多くのものが保管されています。それらを管理することは簡単ではありません。盗難や火災等で歴史物が無くならないようにするのはもちろん、品質が落ちないような保存も必要です。そんな大変な管理をしているのが田中基彦さんです。また、「ふるさと語り部講座」で、黒野神社の案内をして、地域内から地域外まで、多くの人に村岡の魅力を伝えています。

それだけでなく、村岡の小学生の全校生徒の前で発表を行ったり、正月行事などもしていて、小学生へのふるさと教育にも力を入れています。また、香美町文化財審議委員会などでも活躍しています。神社の宮司になるまでは、村岡高校の教員をしていて、村高祭を見てきています。

○子どもたちに伝えたいこと

実際に本物の歴史財を見て欲しい!!なぜなら、ただ写真をみるだけでは気づけない部分や、印象に残ることが実際に見た方が多くあるからです。黒野神社には旧国宝の文化財をはじめ、たくさんの文化財があります。歴史には必ず、残っているものの痕跡があります。その痕跡が黒野神社には多くあり、身近な歴史を学べます。だから実際に来てその目で見てください。また、ふるさとの地を大切にしてください。



しぜん
**自然のことなら
おまかせあれ!**

た まる かず み
田丸 和美さん



こんなことやってるよ!

むらおか だいひょう
・**村岡ガーデンクラブの代表**

こうし
・**フラワーセンター講師**

はな みどり まも
・**花や緑を守るためのボランティアをしているよ!**

おお き ほご
・**大カツラの木を保護しているよ!**



むらおか しよくぶつ
村岡にある植物だよ。さがしてみてね!

はかせ
ものしり博士からみんなへ

たじま しぜん
但馬には自然がたくさんあるから、
みず じまん
水がおいしい。自慢できることが

ばしょ
いっぱいある場所だよ!

おお ともだち
大きくなったら、お友達といっしょ

かえ
に帰ってきてほしいな!

【解説 ものしり博士】

田丸 和美さん

○**ジャンル**

自然、植物、
森林セラピー、ガーデンセラピー

○**プロフィール**

・村岡ガーデンクラブ代表
・県フラワーセンター講師

○**ものしり博士の活動**

村岡に嫁ぎ、自然の豊かさに影響されたことをきっかけに、自然についての勉強を始めました。田丸さんは村岡ガーデンクラブの代表で、村岡区大笹のザゼンソウ保全・保護を行っています。フラワーセンターの講師もしており、県内に5か所あるフラワーセンターで一般の方へ向けた講座をしています。ガーデンマスターの資格を持っていて、花や緑を保護するため、花いっぱい運動などのボランティア活動を行っています。

○**ものしり博士の思い**

但馬の気候は植物が成育するのに適しているので、人が植物を保護することで、より但馬の植物は生きてきます。村岡には自然がたくさんあり、植物の種類も豊富、だから水がおいしい。このことを誇りに思っています。ものしり博士としてのやりがいは、樹齢1000年の大カツラの木を保護できているなど感じた時です。良い状態で後世へ残したいと思っています。人が入れる自然作りをこれからも目指します。

○**子どもたちに伝えたいこと**

自然が豊かとはどういうことなのかを考えてください。きっと自慢できることです。今ある自然をみなさんが自慢できるように、残したいと思っています。大きくなって都会に出ても、友だちと一緒に帰ってきてくれると嬉しいです。

連絡先

香美町村岡区大笹
☎ 090-8793-5200(携帯)



おお たいこ ちい まち
大きな太鼓を小さな町から

の むら く に し
野村 六合司さん

こんなことやってるよ！

- ちょうらく だいこ しょうがくせい おし
・長楽太鼓を小学生に教えているよ
- むら まつ
・村の祭りやダブルフルでえんそう
演奏しているよ

はかせ
ものしり博士からみんなへ

- あ たの たっせい かん かん ほ
・みんなと合わせることの楽しさや達成感を感じて欲しい。
- きよくたた かいしょう
・1曲叩いたらスッキリ！ストレス解消！
- たいこ たの
・太鼓を楽しんでほしい。
- たた いっしょう おも で
・叩いたことを一生の思い出に。

たいこ みりよく
太鼓の魅力に
き ほ
気づいて欲しい



【解説 ものしり博士】

野村 六合司さん

連絡先

香美町村岡区川会
☎ 0796-95-0072

- ジャンル
伝統＝和太鼓（川会芸能保存会）
- プロフィール
中学～高校まで音楽をしていた。
村おこしの一環として太鼓を始める
- ものしり博士の活動
長楽太鼓を小学生に教える。
村の祭り、ダブルフル等での演奏
週に1回練習（若い方も一緒に）
- ものしり博士の思い
小さな村で30年以上続いていることをやりがいに頑張っています。大きな太鼓を小さな町から広めるために、村の祭りをはじめ村岡ダブルフルウルトラランニングなど150回以上のステージを行ってきました。若い方も一緒に練習を続けて様々な曲を演奏しています。好き嫌いなく指導します。基礎を学びに京都まで行きます。創作太鼓で鮎を表現する曲もあります。
- 子どもたちに伝えたいこと

「太鼓は楽しい」ということや、叩いたということを思い出にしてほしいです。みんなと合わせることの楽しさややりがい、達成感を感じてほしいです。太鼓を叩くスピードや強さなど難しいですがたくさん指導します。楽譜が読めたらできます。



ますおさんの魅力

話しやすく、外に飛んでいる鳥を瞬時にみきわめることができるよ！

やちようとお
野鳥を通して
しぜん
自然をマスター！

くろだますお
黒田 益生さん

こんなことやってるよ！

やちようかんさつとりなまえ
野鳥を観察して鳥の名前
おほいちがん
を覚えたり、一眼レフを
つかやちようかたおし
使った野鳥のとり方を教
えているよ！

はかせ
ものしり博士からみんなへ

わかとききおくりよく
若い時は記憶力がいいから
とりなまえおほ
鳥の名前をたくさん覚えるなら
いま
今がチャンス！

きおくりよくい
記憶力を活かして
とりなまえ
鳥の名前をマスターしよう！



【解説 ものしり博士】

黒田 益生さん

○ジャンル
バードウォッチング

- プロフィール
 - ・村岡高校卒業
 - ・日本写真専門学校
 - ・2年間大阪で働く
 - ・和田山フジカラー現像所
 - ・以前、福岡でガソリンスタンド経営
 - ・フリーで活動（アウトドアスポーツ系指導員）
 - ・野鳥の会

○ものしり博士の活動
タンチョウ会として木の殿堂でバードウォッチングを主催している。

○ものしり博士の思い
・村岡ではどこでも野鳥を見つけられるし、多種であるため恵まれている。
・子どもたちが鳥を見つけた時の喜びや、興味を持ってもらうことにやりがいを感じる

○子どもたちに伝えたいこと
村岡に生まれ育ったからには、村岡を誇りに思ってもらい、できれば故郷である村岡に帰ってきて欲しい。

連絡先

香美町村岡区日影
☎ 090-7484-0780 (携帯)



くんせい いちど かた に ど
燻製で一度、語りで二度
あなたも**虞**に！

いの うえ とし お
井上 利夫さん

くんせい た き
燻製を食べに来てね！

こんなことをしているよ！

こうみ えん
『香味煙』で、ソーセージや
チーズの燻製を作っているよ！

はかせ ものしり博士からみんなへ

どりょく くるう ひと じんせい か
努力や苦勞をした人は、人生がガラッと変わるよ。

まわ ひと かんしゃ き も たいせつ
周りの人への感謝の気持ちを大切にしてほしいな！

みんなには夢があるかな？私の夢は『ハイジの森構想』を実現させることだよ。みんなにもでっかい夢を持ってほしいな！



【解説 ものしり博士】

井上 利夫さん

○ジャンル
燻製加工

○プロフィール
生活工房『香味煙』を経営

○ものしり博士の活動

「ふるさと・村岡を何とかして変えたい」と思っていた時、ひらめいたのが食文化を変えることでした。借金で人生のどん底にあった時期もあったけれど、妻のとみ子さんと二人三脚で這い上がってきました。その後、「但馬をドイツのようにしたい」と思い、香味煙を拠点に燻製をはじめました。ソーセージやチーズ、たくあんなど、様々なものを燻製にしています。また、約100人いる弟子に燻製を伝授しています。意思や技術を伝えることで地域が元気になっていると感じているし、自分が培ってきたものがつながっていくのを実感できて嬉しいです。

次の目標は、『ハイジの森構想』を実現させること。高原でヤギを飼って生ハムやチーズの燻製を作ったり、ブドウを育ててワインにしたり…たくさんの人を喜ばせたくて仕方がありません！

○ものしり博士の思い

人間に苦勞はつきもの。でもその分、人生は豊かになるしガラッと変わります。困っている人や地域のために行動したいと思うし、皆さんにもしてほしいなと思います。

○子どもたちに伝えたいこと

どんなことがあってもいつも喜ぶ、どんなことにも感謝して生活してください。そうすれば、きっと人生はもっと輝きます。嫌でも笑えるくらいのスケールの大きさと、不可能だと思われるくらいの大きな目標を持ってください。強く思えば思うほど、夢は実現します。私も残りの人生、日々燃焼し続けます。

連絡先

香美町村岡区福岡
☎ 0796-96-0069

活動記録 ふるさと教育教材開発(1・2年次)

1. 地域学入門

地域の専門家から地域資源と探求の視点を学んだ。ここでは、山、川、海、地質・植生・獣被害などの自然科学分野や、歴史や集落調査活動などの人文科学分野について、講義+実習をセットで学んだ。



2. ペーパープロトタイピングとゲーミフィケーション

鳥取大学の武田先生に、アイデア具現化の手法「ペーパープロトタイピング」と、ゲームのメカニズムを活用した学習活動「ゲーミフィケーション」について学んだ。私たちは実際に、「地域学入門」の講義で但馬の植生について学んだ際の経験や授業内容をもとに、「ペーパープロトタイピング」を用いてゲームのプロトタイプを作成した。



3. ものしり博士へのインタビュー調査

ふるさと教育教材(ゲーム)の開発と、ものしり博士ガイドブック作成のために、ものしり博士へのインタビュー調査を行った。その際に、インタビューの手法を武田先生よりレクチャーして頂いた。



4. インタビュー結果のまとめ

各班毎にインタビュー結果をまとめ、3年次での活動に繋げた。



活動記録 ふるさと教育教材開発(3年次)

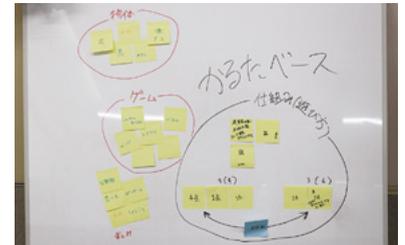
1. リモートでアイデア出し

コロナウイルスの影響で、学校に登校できない中、各自がどんなゲームを作りたいかを考え、オンラインでそれぞれプレゼンした。



2. ブラッシュアップ

出てきたアイデアの中から、「カードゲーム」「スゴロク」「村づくりゲーム」の3つのグループに分かれ具体的などのゲームをベースとするか考えた。その後、自分たちのテーマに沿いつつ、楽しんで学べるゲーム要素を加えていき、より良いものになるように話し合った。



3. 試作

自粛期間が明け、考えたゲームの試作品を作りプレイした。それにより、新しいゲーム要素が浮かんだり、改善点を見つけることができた。



4. 小学生との体験会

自分たちが考えたゲームを初めて小学生に体験してもらった。そこで子供たちの遊んでいる様子を見て新たな反省、改善点があった。逆に狙いどおりになった点も多くあり、手ごたえを感じた。



ふるさと教育教材 開発作品紹介①

【かるた】

コンセプト

- ・かるたという身近でありシンプルなルールのゲームで、地元のものしり博士やその活動を知ってもらう。
- ・知っていることを増やし、自分が興味を持ったことだけでも調べてもらいたい。



内容

ルールはかるたと同じ。ただし勝敗はカードの枚数ではなくカードに書いてあるポイントの合計。イベントカードによって大逆転の可能性も！



好評点

- ・カードを見て「これしてみたい」と興味を持ってくれた。
- ・読み札をしっかりと聞いて、知ってほしいキーワードに集中していた点は狙い通りだった。

「おもしろかったです」
「たのしかった」
「おじさんばかりだった」
→楽しみながらものしり博士の存在を知ることができた!!

ふるさと教育教材 開発作品紹介②

【アユの人生ゲーム】

コンセプト

ゲームを通して「アユが暮らしている＝自然が豊か！」ということに気づいてもらい、地域の魅力を学んでもらう。また、ゲーム化することで、より地域を身近に感じてもらおう。



内容

矢田川に住んでいるアユになり、アユの一生を疑似体験できるこのゲームを通して、アユのことや矢田川のことを学べる。



好評点

小学生全員が楽しんでいて、最後には自ら学ぶ積極性が見え、このゲームが地域を学ぶことに繋がったことがとてもよかった。

最後には、ゲームの中で自分が分からなかった内容をノートや紙に自らメモを取る姿が見られた→ゲームが学びの場所になった!!

【ヴィレ盤】

コンセプト

- 1.ものしり博士の存在を知ってもらう。
- 2.戦略を考える中で地域づくりのプロセスをロールプレイングすることでゲームを通して地域づくりのイメージを持つ。

内容

- ・ミッションカードで与えられたフィールドカードを盤上に集めて、村を完成させていくゲーム。
- ・途中にアクションが起きる。
- ・最終的に、ミッションカードによって与えられたフィールドカードの枚数と盤上のフィールドカードの数の差が少ない人が勝利。



好評点

小学生全員が楽しんでいて、最後には自ら学ぶ積極性が見え、このゲームが地域を学ぶことに繋がったことがとてもよかった。

「みんなが何を増やそうとして
いるかわからないドキドキ感
が良かった！」
「少し難しかったけど、教える
のが上手で楽しくできた！」
→戦略を考えていく中で自然
にまちづくりをロールプレイン
グ!!

兵庫県立村岡高等学校第59期
地域アウトドアスポーツ類型 地域創造系

はじめに、『香美町ふるさとものしり博士ガイドブック』を作成するにあたり、香美町のものしり博士の方々をはじめ、出版に携わっていただいた方々に心より感謝申し上げます。

このガイドブックは、「ふるさとに学び、夢や志を抱き、ふるさとを大切に作る人づくり」を目的とする「ふるさと教育」に地域人材を活用するため、作成した参考資料となります。学校でのふるさと教育の授業に使用する事や、ガイドブックを使用した際、ものしり博士に疑問や興味を持つことがあれば、自らお話を聞き、より学びを深めることができるなど、幅広く活用できるのではないかと考えています。

今後は、このガイドブックを「ふるさと教育」に積極的に取り入れ、多くの人々が地域に興味関心や愛着、誇りを持てるようになり、地域の活性化につながれば幸いです。学校だけではなく、多くの人々、例えば、地域に住んでいる高齢者の方などにもぜひ活用してもらいたいと思っています。地域について「学ぶ」ということに遅すぎるということはありません。これを機に魅力がたくさんある誇りが持てる地域として認識する方が増え、地域と共に成長していくことを願っています。

鳥取大学地域学部地域学科人間形成コース准教授

武田信吾

私にとって、「ふるさとものしり博士ガイドブック」の作成に携わるのは、今回が2度目になります。前回（3年前に発刊）は、地域創造系5期生の手によるもので、私にとっても、村岡高校にとっても初めての取り組みでした。期待と不安が入り混じった感覚のなかで、校正原稿の到着を待っていたことを覚えています。今回は、ある程度の見通しがあるなかでの取り組みとなりますが、生徒のみなさんにとっては、当然ながら初めての経験です。先輩の良さを引き継ぎつつ、独自の工夫を加えた素晴らしい仕上がりになりました。

ガイドブックの作成に当たっては、ふるさとものしり博士に直接聞き取りを行い、そこで得た情報を整理した上で、読み手にとって分かりやすく、関心を持ってもらえるような記事内容と紙面デザインを考えていく必要があります。このプロセスでは、コミュニケーション能力や協同性、発想力や表現力など、自分たちの力を総合的に働かせていくことが求められます。この力は状況に応じて培われるものであり、一夜漬けの知識のように、消えてなくなることはありません。今後の生徒のみなさんの1人1人の進路のなかで、十分活用されていくものと期待しております。

最後になりましたが、本冊子を作成するにあたり、多大なご支援とご協力をいただいた「ふるさとものしり博士」の皆様、多くの香美町の方々に、厚く御礼を申し上げます。町内外の様々な場で、みなさまの手によって、本冊子が活用されることを心より願っております。

